

野菜の展望

今月の野菜は北日本や高冷地産の出回りとなります。今年は主力となる東北・北海道が曇雨天続きで、作況は生育不良が散見され全体的な入荷量にも影響を及ぼす可能性があります。

果菜類の胡瓜は福島産を中心に、石川・長野・山形産の入荷がありますが、下旬からは数量が若干減少すると思われます。南瓜については上旬が石川産（能登・金沢・加賀）主力となりますが、下旬には北海道産中心へと移行します。茄子は石川産を中心に群馬・山形・茨城産の入荷があり、長茄子は石川・群馬からの入荷となります。トマトは岐阜主体に北海道産、旧盆明けより石川産の抑制物の入荷が始まります。ピーマン・とうもろこしは共に長野・北海道産が中心の入荷となります。

葉茎野菜類のレタス・白菜は長野産が中心の入荷となります。キャベツは群馬産主力に長野産の入荷です。ブロッコリーは北海道産主体で、他に長野産の入荷となります。ほうれん草は岐阜産の他に、石川・静岡産の入荷があるものの、日照不足による影響から入荷は若干不安定となります。葱は石川産中心の入荷で、北海道・青森・埼玉産も加わって、順調な入荷が見込まれます。小葱類は福岡産を中心に愛知・静岡産の入荷となります。

根菜類の大根は北海道産中心に青森・岐阜産の入荷です。なかでも十勝から道東にかけては雨天続きで6月中旬に播種出来ていない地域も多く、かなり不安定な入荷となりそうです。人参は北海道産が順調に入荷する見込みですが、日照不足から当分M・S中心となりそうです。蓮根は石川産が中心となり、やや生育が遅れていますが、前年並みの入荷量が見込まれます。甘藷については、上旬から石川産の個人物が始まり、下旬からはJA金沢市共選物の入荷となります。

きのこ類の椎茸は石川産菌床物を中心に徳島・富山・長野・岐阜産の入荷があります。高温期となるために小玉傾向で下位等級品の発生率が高くなると思われます。なめこ・えのき・しめじ類・他きのこ類は、減産の時期に入りますが、集荷には万全を期して参ります。松茸は中国産主体にメキシコ産の入荷で前年よりも多い入荷となる予想です。石川産の夏茗荷は上旬から増量傾向となりそうです。

土物類の馬鈴薯は石川（能登）・北海道産中心の入荷となります。北海道産は旧盆明けから増量となる見込みです。メークインは青森産の入荷となります。玉葱は、月前半は兵庫産中心の入荷で、旧盆明けからは北海道産の入荷も予定しています。長芋は北海道・青森産の入荷で、数量は平年並みとなる予想です。生姜は高知産を中心に一部中国産の入荷で、新生姜については高知産に上旬からは岡山産も加わり、夏の需要期に対応できるよう努めてまいります。

この夏はラニーニャによる猛暑や、食欲不振による購買意欲の低下も予想され、販売環境は厳しいものと考えられますが、夏休み・旧盆など、各種イベントに合わせ、企画立案の上、拡販へのご協力をお願い申し上げます。

《野菜第三部部长 杉本智則》

果実の展望

春先の低温の影響を受けて生育遅れが目立った果実は、その後は天候に恵まれて順調な回復を見せ、出荷は若干の前倒し気味になっています。

西瓜は県内のJA志賀を主力として2Lサイズ中心に上旬一杯の入荷予定となっています。他に長野・山形産の入荷を予定しています。

瓜類は静岡・高知・石川産のアールスメロンの他、北海道産の赤肉メロン（ルピアレッド）・青肉メロン（らいでんクラウン）、山形産のアンデス・クインシー等の入荷となります。

桃は山梨・和歌山・福島・長野・石川産の入荷となり、作況は前進傾向となっているため旧盆前は品薄が予想されます。

梨は県内産がJA金沢市・松任・加賀からの入荷があります。各産地ともに前年並の出荷が予想されます。県外産は福岡・佐賀・和歌山産の出回りで、24玉・28玉中心の入荷見込みです。ぶどう類のデラウエアは、県内産の切り上がりが早くなるため、旧盆前には山形産が中心となります。また、盆明けについても山形産の露地物主体の入荷となります。巨峰は山梨・長野・石川産の入荷で、主力の山梨・長野産は盆前より増量する見込みです。石川産は種無し巨峰が金沢地区から順調に出回ってきます。マスカットは岡山産の入荷となります。

ハウスみかんは愛知・佐賀・福岡・徳島産等の入荷を予定しており、全体的に小玉傾向で、S・M中心の玉流れとなります。主力の愛知は出荷量が前年よりやや多いですが、佐賀・福岡産も少なめの入荷が予想され、高温の影響で着色不足が懸念されます。

いちじくは愛知・石川・和歌山産の入荷予定です。愛知産については、早ければ上旬より露地物の出回りが予想されます。県内産については月初めよりハウス物が入荷する予定で、露地物については中旬以降の入荷見込みとなり、その後は徐々に増量となります。

りんごは長野・石川産（つがる・祝等）の入荷となります。

輸入果実については、主力のバナナはフィリピンの干ばつの影響から、少なめの入荷となります。グレープフルーツは南アフリカ産を中心に安定した入荷が見込まれます。レモンは、チリからの安定した入荷となります。オレンジはオーストラリア産ネーブル種に加えて、南アフリカ産バレンシア種の入荷です。パイナップルは、ゴールドンパイン・スウィーティオパインともに天候不順の影響から不安定な入荷となります。その他にもニュージーランド産キウイフルーツ、カリフォルニア産のハネジューメロン、メキシコ産のアボカド等が入荷します。

今月につきましては盆商戦を控えておりますので、何卒一層の拡販をお願いいたします。

《常務取締役（営業本部長） 大西信哉》